

科目名 法Ⅱ	教員名 森田 修	1月22日1時限 試験時間90分		
指定クラス 1年(文1, 文一二23-28), 2年(文1)	解答用紙 1枚	計算用紙 なし	持ち込み 判例・解説のない 六法(書込み不可)	

【注意】

大問1と大問2のいずれから先に解答しても良いが、どちらを解答しているかを明示すること。ただし各大問中の小問の順序は解答に当たって変更してはならない。
大問1大問2いずれの解答に当たっても、根拠条文、必要な場合には裁判例等の実定的根拠を示すこと。その際条文の引用は条数のみで足り、条文自体を逐一引用する必要はない。

大問Ⅰ

下記の設例を読み、小問1～3に答えなさい(なお問題文の現在時が2025年であるとして答えなさい)。

18歳のAは大学に入学したので、英語力をつけようと考え、自由予約制の英会話教室を営むB社との間で、同教室への入会手続きを行い100回分のレッスン料として40万円を払い込んだ。

Aは契約時に法定書面の交付を受け、交付後、1ヶ月の間にレッスンを4回受けたが、期待したほどには面白く感じられなかったので退会して返金を請求しようと考えた。ところがAとBとの契約には「受講生が途中で解約する場合には、その受講回数にかかわらず、既に提供されたレッスン料に加え、20万円を支払わなければならない」という条項があった。

小問1 AとBの間にはいかなる契約が存在しているか

小問2 AはBに対して契約を打ち切って退会を申し入れることができるか。

小問3 その際40万円の払込金の返還を請求できるのか、それともBがAに20万円の解約金の請求ができるのか。

大問Ⅱ

下記の小問について、判例法も踏まえて答えなさい

小問1 名誉毀損とは何か。定義を示しなさい。その際小問2で用いることを想定した具体例を挙げなさい。

小問2 名誉毀損の被害者は加害者に対していかなる要件の下でいかなる内容の民事責任を追及できるかを、小問1で示した具体例に則して説明しなさい